

平成20年度社会実験実施箇所

箇所名 : 広島県尾道市
実験名称 : 自転車・地域SNS活用しまなみ海道にぎわい創出社会実験
実施主体名 : 尾道市しまなみネクスト観光協議会
実施期間 : 平成20年12月6日(日)～平成21年2月15日(日)

1. 地域の現状と課題

- ・しまなみ海道は、広域的交流促進と地域住民の生活交流の2つの目的をもつ。
- ・歩行者・自転車専用道が併設され、観光だけでなく、沿線住民の生活のための道路。
- ・自転車ネットワーク・レンタル自転車システムは、橋梁部はしまなみ海道、その他は一般道路を利用。このため橋梁部への案内や一般道路での安全・安心の問題点が指摘されている。
- ・開通10周年を迎えての将来的に持続可能な地域振興、観光交流の活性化が必要。
- ・地域住民視点での地域住民による情報発信によって島文化の継承と地域交流促進が必要。

2. 実験内容

- ・地域SNS・携帯GPSによる住民意見の収集と施策立案への活用および実験施策評価への活用
- ・スタンプラリー、安心・安全の案内サインによる魅力ある自転車回遊ネットワーク構築。
- ・太陽光・風力発電を利用した、電動アシスト自転車の充電設備の試験設置。
- ・講演会・シンポジウムの開催によるサイクリングモデルコースの設定。(本整備への足掛かり)

3. 位置図・実験概要等



広島県尾道市

瀬戸内しまなみ海道振興協議会HPより



島内



橋梁部

世界にも稀有な多島を有するしまなみ海道。島々には古い伝統に受け継がれた昔ながらの暮らしがある。しまなみ海道開通10周年(12月)に向けて、社会実験では、様々なまちづくりの主体が連携して島文化をつなぎ広め、安全で安心な自転車専用ネットワークの構築を目指す。

① SNS・携帯GPSを活用して住民意見の収集と施策立案への活用および実験施策評価への活用
アンケート(GIS対応)実施(12月まで)予定
・自転車回遊ネットワークに関する調査・しまなみ海道沿線関係機関との連携

② イベント開催、安全サイン・案内サインの設置
アンケート(GIS対応)実施(12月まで)予定
・しまなみ海道サイクリングスタンプラリーの開催

③ 地域性のあるスタンプラリーの開催
(尾道大甲船内)
アクセスポイント(1)設置
(スタンプラリーと連携)

④ 太陽光・風力発電を利用した電動アシスト自転車の充電設備の試験設置
水産物産物(12月)設置(12月まで)予定

⑤ 講演会・シンポジウムの開催によるサイクリングモデルコースの設定
しまなみ海道開通10周年に向けて、新しい島のプランを提案

⑥ アンケート調査 H20.10~11
⑦ 社会実験期間 H20.11~H21.1
・しまなみ海道サイクリングスタンプラリーの実施
・沿線の沿道案内の設置
・電動アシスト自転車の設置
・講演会・シンポジウムの開催

⑧ ユーザー満足度調査 H20.11~H21.2
⑨ しまなみ海道開通10周年記念企画 H21.4~

⑩ しまなみ海道
⑪ 自転車回遊ネットワーク
⑫ しまなみ海道サイクリングスタンプラリーの実施
(尾道大甲船内)
⑬ しまなみ海道沿道案内の設置
(尾道大甲船内、スタンプラリー、沿道案内)
⑭ しまなみ海道開通10周年記念企画